

洛女會之報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
京都市左京区田中大堰町49
075-701-3164

明るい春を待望して想う

会長 大谷 泰之

本会報が会員の皆様に届けられる頃には、若い方々は卒業・進学・就職・入社・配属・研究開発の躍進等、そして中高年令の方々にも昇格・転勤・出向・定年退職という人生の大きな節目を迎えた方がも多いことと思われる。

お水取りも終りに近づき、これからは比良八荒に統いて被岸へと次第に春めいてくると京都では言いい伝えられている。

しかし季節は明るい春を迎えて、昨年から今春にかけての世相は、国内はもとより世界的な大激

切望して止まない。
次に本部では去る2月6日役員会が開かれた。上西亮二顧問(昭6年卒)はじめ副会長と常任幹事会の三教授および全支部長、デルタ会幹事等が出席され、平成1年度事業と会計報告、5年度事業

久次人院定かがくもがわの鳥類圖鑑によれば、この種は日本に分布する。雄の頭部は赤褐色で、小鴨(全長約35cm)の頭部は赤褐色で、小鴨(全長約50cm)の頭部は赤褐色で、小鴨(全長約35cm)の頭部は赤褐色で、真鴨(全長約60cm)の頭部は暗緑色で、何れも雌は大体全身褐色で、以上3種類の

ことはご同慶の至りで、これも全く本部および各支部の役員はじめ会員の皆様のご協力、ご支援の眼物と深謝申し上げる次第である。

また新入会員の諸君に対して心から歓迎すると共に、本部および各支部との連絡を密にし、支部会にも出来るだけ出席されるようお願いしたい。どうか現今昀暗い社会だけを見つめないで、夢と希望、想像性と創造性を持ち、科学技術を中心とする基礎と応用分野さらに暮らしや地域社会等の変革進に向つて努力を継続されるよう

旅行され、何でも海水浴もされた
由、聞くところによると名古屋では金さん銀さんの例もあり、百十
を目標に最近はさらに健康に留意
されていふことであつた。たまたま
た同期の関西支部の芦原義重顧問
も相変わらず財界でご活躍、週一回
上京され、また時にはゴルフコンペ
に出掛けられるとのことである。
のお二人の超高令先輩の外にも各
支部での90才近いお元気な先輩の
話を伺うことが出来たことは嬉しい限りであった。

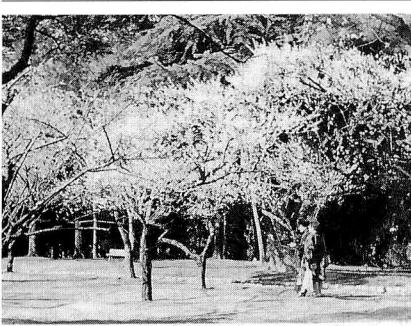
今冬は比較的の暖冬であったためか、校前線の北上も例年より少しは早く進んでいることと思う。もつとも3月上旬までの西日本ではまだまだ寒い日が多く、京都洛北では一雪毎の暖かさと言つた変化が続いていた。去る2月2日頃と24日頃には20cm以上の降雪もあり、洛北西の山林では名木高山水杉の7万5千本も倒れ相当な被害があつた。由割合降雪の多い早春であった。

従来の数年分が一年以内に圧縮されたよう暗い冬の時代の事件や話題に満ち溢れ、比較的の余裕時間の多い筆者も全部フォローすることは難しい位である。

ここで先づ会員の皆様方はご健祥にお過しのこととお喜び申し上げる。本会も今春約130名のフレッシュな新会員を迎える、会員登録は(物故者や住所不明者を除いて)約5千数百名を越え、また本会の運営状況も益々充実発展して来た

簿発行と広告募集等が審議された。また**本部総会**は別稿の如く5月21日(金)東京支部総会と合同して東京目黒八芳園で開催されることになった。また各支部長からの報告では、主として会の運営方法や委員名簿の把握法等について話がなった。高令会員の動勢として中支部の元支部長で本部顧問である多静雄先輩(大13卒)は、本年05才のご高令にもかかわらず、今夕はオーストラリア方面へご夫妻で

京大広報の最近号が配布された。
さらに大学の研究室の環境改善問題も、ちと遅々として進まない由、これからの時代こそ大学の基礎研究の促進が肝要であると言うのに、一方では政治家の横違いの蓄財や腐敗状況の報道が溢れている。政界だけではなく各界での倫理感の喪失が見られることは誠に嘆かわしい限りである。





外、ヨシガモやカイツブリ等も見られるとのこと。時々ピューピューと口笛のような鳴き声が耳に聞かれることが多かった。

鴨と言えば、この2月頃東京上野の不忍池で20日振りで保護入院手術治療後仲間に戻された例の矢負い鴨の話題がマスコミのフィバになつたことは、ご承知の通りで誰もが本当に良かったと思つた。

動物が登場するニュースは視聴者にも記者にも好まれ、多くの人の動物を愛する心を深く揺り動かすものである。最近は新聞の第一面に暗い記事と並んで日々自然や生物動物のカラー写真が見られるがどれだけ人的心をなごませてくれることか筆者も特に楽しみにしている。何れにしても深泥池は鴨類にとって平和な楽園に違いない。

次にスポーツ関係の話題に移りたい。

さて年末の甲子園ボウルで京大チームは学生日本一になつたこと、も、さらに正月3日の東京ドームで行われた実業団との日本選手権試合のライスボウルでアサヒビールチームに惜敗したことのご承知の方も多いと思う。

国立大である京大がアメフ日本一になるのは、理論と戦術が強調される球技だからとよく説明されている。リーグ開戦前では京大は勝てないと予想が多かつたが、試合の度毎に覆された。このスポーツは精神的な勢いが勝敗に大きく作用する格闘技でもあり、そして京大は「思い込んだら命がけ」の人材に事欠かない大学であったのである。

京大アメフ部の水野弥一監督（昭和40年工学部卒）の「子供達を鍛えるには」と題する講演が先般行われ、その要旨を京大学生新聞（2月20日号）で見た。アメフチームの回生中心の素人集団を日本一に鍛えあげた経験を基に話された講演の内容を次に要約したい。

先ず例年通り年末に大学のアメリカンフットボウルの試合があつた。京大のアメフチームの部長は母教室の西川輝一教授であること前にも書いた。なを西川教授はこの4月から工学部長の多忙な要職に就任されることになつていてことを付記する。

さて年末の甲子園ボウルで京大チームは学生日本一になつたこと、も、さらに正月3日の東京ドームで行われた実業団との日本選手権試合のライスボウルでアサヒビールチームに惜敗したことのご承知の方も多いと思う。

人間は一步一步段階的に上達する、情熱と精神力で最後までやり抜く、観念論ではなく、こうやれば勝てる、合格できるという具体論が大切、初心者ほど具体的にやる事が効果的である。しかし何度も壁に突き当る、大切なのは成功することをイメージを持つてやること。

人間は一步一步段階的に上達する、情熱と精神力で最後までやり抜くと共に若くなると思って、余り試合毎に強くなる。何時もベストを尽す。スポーツをする目的は必ず自己主張、これが俺だと言える究極の個性を作ることがある。自分の目標は一段高めを狙うこと、何事も高い目標に向って積極的に進むことは、勉学にも社会生活にも役立つと考えていると緒言している。

さらに京大チームの主将は神戸大学三年から京大アメフをやったために京大一年入学して頑張つて来た里主将であった。彼は体が小さくても、また一人倍の練習でガタガタになつた体にムチ打ちつつチームの猛練習（理工系の授講時間外）をリードしてきた彼の損得抜きの頑張り（彼自身殆んどの試合に出場することはなかつた）を水野監督は語つて、学生を

スポーツで鍛えることと共通していると結んでいる。

スポーツシーザンと言えば、3月14日からの大相撲春場所（大阪）

体育館は新横綱曙と新大関貴の花が新たに加つての曙貴時代を迎えた。優勝競いが面白くなつてきた。3月下旬に始まる甲子園の選抜高校野球やプロ野球のTV中継も見られるが、何とか今冬からの暗い世相も実力実戦主義のスポーツで、明るい春を迎えたいたものである。

さらに春から本格的なゴルフシーズンに入ると共に会員の皆様もコンペに出掛けられることも多くなることと思われる。筆者はプロゴルフのTV画面で内外の有名プレイヤーの後からキャディが何かアドバイスしているのを見かけることが多いが、中高年の夫婦でお互いに適切なアドバイザーとなつて共に楽しむ趣味生活が出来たらと

おもつたことがある。

余談であるがゴルフのスコアからゴルフ診断やアドバイスをする

効果手段と言えると思われる。

先日健康と景気に関係した、ある作家の記事を見た。不況で忘年会や2次会も減り、胃薬の売上げも落ちた由、風吹けば桶屋が

もうかる式に不景気風が吹いたら

ファミコンゴルフを日々楽しむ程度の筆者には、「昨年來の持病の腰痛や高血圧、貧血症の薬の厄介

になつていて健康状態ではゴルフ場で青空に飛んで行く自分の白

色ボールを見るとはやはり実現性の無い夢であると思っている。

今年京都で開催される第6回ねんりんピック（全国健康福祉祭）の

選手として出場する筆者より一つ年上の中学時代の同期生の話を聞いた。（筆者はそのクラス会の総幹事を長年月続けているが、これはワープロとコピー機を使って会合通知から当日の世話一切を甘んじて引受けているからであろう）

彼は平均寿命が伸びた高令社会では普通の年令でなく、余命が近づくと共に若くなると思って、余り練習がオーバーにならぬよう心掛けつつ毎日頑張っているとのこ

とであつた。誕生から数えた年令に頼らず、余命に注目した逆年令を数えると確かに若くなる。現在は豊かな経験と知識を持つ若い高令者が増加している。その若さにふさわしい役割を与え続けること

が、高令社会の暗い幻想を碎く有効な手段と言えると思われる。

先日健康と景気に関係した、ある作家の記事を見た。不況で忘年会や2次会も減り、胃薬の売上げも落ちた由、風吹けば桶屋が

もうかる式に不景気風が吹いたら

ファミコンゴルフを日々楽しむ程度の筆者には、「昨年來の持病の腰痛や高血圧、貧血症の薬の厄介

になつていて健康状態ではゴルフ場で青空に飛んで行く自分の白

色ボールを見るとはやはり実現性の無い夢であると思っている。

今年京都で開催される第6回ねんりんピック（全国健康福祉祭）の

電気系教室だより

転任のご挨拶

板谷 良平



私こと、このたび退官の予定より1年早く京都大学工学部教授を辞し、平成5年4月1日付をもって国立新居浜工業高等専門学校校長として転任することとなりました。昭和30年7月1日付で文部教官、京都大学助手を拝命してから37年9ヶ月に亘り、電気系教室に在籍し、卓越した先輩、同僚並びに後輩の諸氏に恵まれて、御陰をもって大過なく、いや、私の能力一杯、思う存分に仕事に打ち込んで来られたことを深く感謝しております。この紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

助手着任早々は、今は亡き松田長三郎先生の最後の助手としてお

りました。

谷泰之先生のご指導を受け、今日に至りました。昭和28年に卒業し、会社に就職したときの仕事が、たまたま蛍光灯であったことから、大学における研究課題は必ず蛍光灯の高周波雑音で始まり、これが核融合プラズマの基礎研究につながり、さらには、反応性プラズマの研究へと発展してきました。昭和33年に始まったわが国の核融合研究に参加することができ、名古屋大学プラズマ研究所設立とその初期の活動の一翼を担うチャンスに恵まれ、また、昭和63年からは重点領域研究「反応性プラズマの制御」の領域代表者として半導体プロセス用のプラズマを制御し得ることを世に訴えることができたことは幸運と言う他なく、同じプラズマで二度までも社会的に関心が高い研究の大きな流れの中に身を置くことができたことは研究者冥利に尽きます。

教授になつて早々の学園紛争、その後暫くしてあの陰湿な全臨闘(非常勤職員に係わる紛争)等、

任せし、先生の御退官後は終始大谷泰之先生のご指導を受け、今日に至りました。昭和28年に卒業し、会社に就職したときの仕事が、たまたま蛍光灯であったことから、大学における研究課題は必ず蛍光灯の高周波雑音で始まり、これが核融合プラズマの基礎研究につながり、さらには、反応性プラズマの研究へと発展してきました。昭和33年に始まったわが国の核融合研究に参加することができ、名古屋大学プラズマ研究所設立とその初期の活動の一翼を担うチャンスに恵まれ、また、昭和63年からは重点領域研究「反応性プラズマの制御」の領域代表者として半導体

換えで2時間49分。瀬戸大橋の景色を楽しみながら快適に旅行できます。特急の止まる駅からタクシ

りました。新居浜高専には平成4年度から全国62高専に先駆けて専攻科が設置され、これを修了した学生は大学学部卒業と同じ年限を学んだことになり、学士の学位が授与され得るようになりました。従つて、

専の通常の課程を卒業した学生の就職をもしくお願い致します。京都から新居浜までは岡山乗り換えで2時間49分。瀬戸大橋の景色を楽しみながら快適に旅行できます。特急の止まる駅からタクシ

るようお願い致します。また、高専修学者課程にも送り込むよう努力致しますので、洛友会会員の方では、平常時では見ることができない人間の一面を垣間見ることも、今はまだ思い出の一駒とな

ります。高専修学者課程にも送り込むよう努力致しますので、洛友会会員の方では、平常時では見ることができない人間の一面を垣間見ることも、今はまだ思い出の一駒とな

ります。高専修学者課程にも送り込むよう努力致しますので、洛友会会員の方では、平常時では見ることができない人間の一面を垣間見ることも、今はまだ思い出の一駒とな

ります。高専修学者課程にも送り込むよう努力致しますので、洛友会会員の方では、平常時では見ることができない人間の一面を垣間見ることも、今はまだ思い出の一駒とな

板谷良平教授・記念パーティのご案内

一、記念講演

日時 平成5年8月21日(土) 午後3時半より
会場 京都パークホテル
TEL(075) 5225-3111

二、記念パーティ

日時 平成5年8月21日(土) 午後5時半より
会場 京都パークホテル

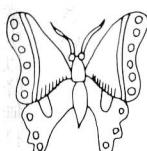
(連絡先)

〒606 京都市左京区吉田本町
京都大学工学部電子工学科教室
板谷良平先生退官記念行事 世話人 八坂保能
TEL(075) 753-5305・5306

大学の動き

西川禪一教授選出
工学部長に

平成5年2月22日、京都大学では新しい総合人間学部長など5部局長の選出について発表した。その内工学部長に電気工学科の西川禪一教授(59才)が就任された。任期は2年間、西川教授は昭和30年京大工学部電気卒、昭和32年同大院修了、工学部助教授を経て昭和47年教授。現在計測制御工学講座を担任されている。



平成4年度電気系教室 卒業生の進学就職状況

種別	学部	修士	進学・就職内定先
卒業予定者数	133	89	
進 学	84	1	京都大学大学院電気系専攻修士課程
	1	1	同応用システム科学専攻修士課程
	2	11	東京大学大学院電気系専攻修士課程
		1	奈良先端大学大学院専攻修士課程
		1	京都大学大学院電気系専攻博士後期課程
		1	滋賀医科大学入学
官 公 序 学	2	2	特許庁、気象庁
	1	2	京大、高校
電 力・ガス	3	12	関西電力、中部電力、北陸電力、中国電力、四国電力、九州電力、東京電力、大阪ガス
通 信	3	5	NTT、NTTデータ通信、KDD、ATR
電気関連メーカー	18	40	三菱、日立、松下電器、東芝、日電、ソニー、住友電工、古河電工、松下電工、日本電装、島津、三洋、シャープ、パイオニア、村田、松下電子、日本IBM、日本TI、ビクター、ローランド、キーエンス、日新、富士通、沖、ファナック
鉄道・運輸	2	4	JR東海、近鉄、阪急、日本航空
鉄鋼・金属	4	3	新日鉄、日本钢管、神戸製鋼、川鉄、住金
機械・自動車	3	5	三菱重工、IHI、アイシン、ヤマハ、日産、トヨタ、豊田中研
化 学・印 刷	3	1	東レ、アサヒビール、TOTO、大日本印刷
建 築・エンジニアリング	1	1	竹中工務店
自 動 車	1	1	東洋エンジニアリング
帰 国 予 定 定 未	2	4	

本年度の卒業生は別表にあります。この内学部課程89名であります。この内学部から修士課程への進学者は88名、就職者は38名であります。修士課程修業報告申し上げます。

毎年のことながら、学生の就職について、洛友会会員諸兄には何とぞご高配、ご援助を賜わりましたことにお礼を申し上げます。また今後とも変わらぬご支援を賜りまます。

電気系教室の平成4年度卒業生の進学並びに就職の状況について御報告申し上げます。

電気系教室の平成4年度卒業生の進学並びに就職の状況について御報告申し上げます。

電気系教室の平成4年度卒業生の進学並びに就職の状況について御報告申し上げます。

了者からは博士課程への進学者12名、医科大学へ入り直したもの1名、就職者76名であります。

本年度は全般的産業界の不況のため、企業からの求人がかなり減っていると伺つてはおりましたが、

当電気系教室への求人數は例年とあまり変わらず、学生にとっては大変有難いことでした。またバブル崩壊の後は金融関係の企業へ就職する学生が減つております

が、平成4年度はゼロになりました。

毎年のことながら、学生の就職について、洛友会会員諸兄には何とぞご高配、ご援助を賜わりましたことにお礼を申し上げます。また今後とも変わらぬご支援を賜りまます。

会員寄稿

川本重雄君を悼む

稻野藤三郎（昭18卒）

平成4年12月27日、川本君が肺癌との長い闘いを終つて永眠した。

昭和59年に左肺切除の大手術に耐えて阪和電設株の社長に復帰し、平成3年惜しまれつつ会長職を引退するまでは経営の第一線での勤務を申し分なく遂行したと聞い

た。その後も病魔に対する不安を持ちつつ、じつと耐えた彼。それを支えたのは奥様の明るい性格と愛情込めた健康管理にあつたことは言うまでもない。「さて、これからは家族とともに楽しく人生を旅しよう」と話し合つて来ただけに残念の一語に盡きる思いがする。去年3月に体調を崩し検査のため入院したと聞いて御見舞に行つた。その時は再発とは信じたくなかったが、奥様は内々覚悟を楽しむ程に元気を取りもどした。

11月8日、9日は恒例のクラス会でもあり、久方振りに樟葉のお宅に一泊させて頂いて語り合つた。奥様から、この頃はあまり食欲がないと伺つていたが、当日はよく食べ、よく談つて奥様が喜んでお

られた。9日の高野山バス旅行こそ大事を取つて欠席したが、8日在大阪でのパーティには奥様同伴で出席した。席上マイクを握つて淡淡と健康を含めて近況を報告したのが学友との最後の別れとなつた。

11月末、京大胸部疾患研究所付属病院に入院と聞いて見舞つたのは師走の半ばであった。転移からくる痛みに耐えながら手を振つてくれたのが永遠の別れとなつた。

川本君との交友は旧制新潟高校で机を並べたことから始まる。寮で同じメシを食べ、インターネットで青春を掛け、寮歌に酔う生活を共にしてから50有余年が過ぎ去つた。会うこともままならぬ戦中戦である。

（平成5年1月27日記）

佐藤克弥君を悼む

新春を迎えた皆様方に益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

しかししながら、新年早々非常に不幸なことがありました。それは

藤克弥君が、平成5年1月7日午後9時21分骨髓性の白血病のため、神奈川県伊勢原市の東海大学病院にて50才という若さでご逝去されました。

後の一時期を除いて、ときれなく交友が続いたのは、ひとえに彼の人柄によるものであつた。おだやかで目立たず控え目であつたが、他人の話をよく聞いてくれ、求められれば公正で納得のゆく意見をボツリと洩らす、そんなところが、誰からも好かれ、銀閣寺の彼の下宿が、文理科を問わずに新潟高校のたまり場になつていても懐しい思い出である。

その仲間も一人また一人と欠けて私一人が残された。告別式の時、私はインドにて出席はかなわなかつたが、当日は400人の方が、お別れに駆けつけてくださいました。彼の人生が偲ばれる。いつくら痛みに耐えながら手を振つてくれたのが永遠の別れとなつた。

川本君との交友は旧制新潟高校で机を並べたことから始まる。寮で同じメシを食べ、インターネットで青春を掛け、寮歌に酔う生活を共にしてから50有余年が過ぎ去つた。会うこともままならぬ戦中戦である。

（平成5年1月27日記）



佐藤君は昭和42年に日立製作所に入所後、神奈川工場にて汎用コンピュータの設計自動化に尽力され、その後本社ソフトウエア技術推進センターにて、日立のソフトウエア技術の標準化とその普及に努めてこられました。

2年前に、病に倒れて入院されました。が、数カ月治療に努めて病気を克服され、再び元気に勤務されておられました。その後2回入院をくり返され、その都度元気な退院されておられましたが、この度ご息の成人式を目前にしながら、突如のご逝去、哀悼の意を表する次第です。

なお、ご遺族は奥様（敬子様）、ご長男（敬弘君）北里大学1年）、ご長女（睦子さん）県立伊志田高校2年）の3名です。突然の逝去であり、住所は、〒259-13神奈川県秦野市渡沢3-5-5です。

40年卒日立入社同窓生
岩本鉢一・遠藤裕英・佐谷勲

ウエア技術の標準化とその普及に努めてこられました。

2年前に、病に倒れて入院されました。が、数カ月治療に努めて病気を克服され、再び元気に勤務されておられました。その後2回入院をくり返され、その都度元気な退院されておられましたが、この度ご息の成人式を目前にしながら、突如のご逝去、哀悼の意を表する次第です。

なお、ご遺族は奥様（敬子様）、ご長男（敬弘君）北里大学1年）、ご長女（睦子さん）県立伊志田高校2年）の3名です。突然の逝去であり、住所は、〒259-13神奈川県秦野市渡沢3-5-5です。

40年卒日立入社同窓生
岩本鉢一・遠藤裕英・佐谷勲

50代アメリカへの旅

山本眞吾（昭34卒）

米国旅行など今さらという時代となつたが、私にとってはその夢が果せず、学部生のころ小田実の『何でもみてやろう』に感動してから30年余がアッという間に過ぎた。この間、自らの精進不足のせいもあるが、米国はおろかおよそ海外と名のつく所に一步も踏み出したことのない片輪人間になってしまった。しかし50歳も後半に達し、3人の子育ても何とか終らんとし、ようやく重い腰を上げたのであった。我家の大蔵大臣兼総理大臣に相談すると『行つて来れば』とのすげない返事、『私はアメリカなんて別に行きたくない。行くならスイス』とのたまう。かくてアメリカ一人旅となつた。

地平線まで果てしなく続くテキサスの道路を真赤なフォード中型車「トーラス」のエンジン音が心地よい。……実は同じ行くからには、ツアー旅行でなくすべて自分で計画し、かつ何か目的を持つなどと思い立つたが、何分初体験の身にはそう容易ではない。目を試みることであった。噂には聞いていたが、アメリカ

の道路の素晴らしさ、どんな田舎でもちゃんと東名位の片道2車線の道路が続く、しかもそれが殆ど無料である。若し間違つてインターを降りてしまつても必ずすぐ近くでUターンが出来るよう配慮されている心憎い設計。降りるとこはすべて全州統一番号が付けられ、番号で必ず目的地に行ける合意がある。市街地では駐車料金の嘘みたいな安さ。ロスのユニオン駅では、数百台収容の駐車施設が完備し、しかも中は余裕タップリなのにもびっくり。またレンタカーやガソリンも安い。ガソリンは換算すると一リットル40円位である。高速道路では「ものを捨てることもスッキリしている。テキサスの高速道路で効外から世界一のダラス空港に戻ってきた時のこと、不安にかられハンドルを握る手には思わず汗がにじむ。その時、何どもあつた。第2次大戦で我国を凌駕した機械力、特に陸・海・空のそれは如何なるものであったのか。小生は以前から興味を持っていたのでこれを見るのを第二の目的とした。しかしそれを予め調べる系口が何もない。ところが、『アメリカ・カナダ大陸・海・空軍博物館ガイド』という書を私費で出版された、日本大学理工学部の空気力学を専門とされる三野博士を知る

機会を得、我國ではその種の軍事博物館など敗戦国たまに日本のように洗車や凹みを気にせず、個性溢れたのが悠々と走っている。ああこれが車の本来の姿なんだ、と思わず感動する。左ハンドル右ハンドルの差はありますが、思いの他簡単で皆さんも多少運転経験のある方は、国際免許をとつて是非やって見られればと思います。

ともかく、足掛け11日でアメリカ6都市をめぐる内容は大変充実していたが、真夏のこともあり、体力的にはきつい毎日であった。ロス、ダラス、バージニア、ワシントンD.C.、N.Y.とまわり、その間、軍事博物館を13箇所訪ね歩いた。我々の年代は夢多き少年時代に米軍の進駐があり、その機械力の偉大さを目のあたりにしたのが、心の奥底に強い衝撃となつて残っている。メードイドインUSAのマークは飛び切り上等の代名詞でマーキは飛び切り上等の代名詞でもフライアブルの状態で顔が映るほどであった。軍艦、陸上車両の数々にはやはり感銘を覚えるものがあった。訪問地の一つテキサス州ミッドランドでは、かつての名機がゴースト空軍指令部の名の下に完壁に保存され、かつ年一回秋10月のエアショウでは今もその実飛行や空中戦が見られる。また日本を焦土と化したB29は4千機が配備されたが、現在12機が残りうち3機が飛べる状態であった。おすすめはオハイオ州デイトンにあるデイトン空軍博物館で、ライ



ト兄弟から現代までの航空機を集めた世界最大級の博物館で、大がかりな航空ショーが7月の最終3日間に毎年開催されている。

至る処で JAPAN の文字が目につく、アメリカはもう金庫に一錢も残っていない状態、日本は国際感覚がなく鎖国同然の状態へ向かつて走り続けている。この 7 月の

同窓会だより

和18年9月
卒業生クラス会

示され、真に壯觀であった。

私は現在、一電機メーカーで工場研究所生活を経て今は企業内教育という仕事を関わっているのであるが、行って得るところは大きか
ったと思っている。潜入ながら海外にまだ行かれるチャンスを持た
れない会員諸兄にも是非一度お薦めしたい。

よい機会ともなつた。私は現在、一電機メーカーで工場、研究所生活を経て今は企業内教育という仕事に関わっているのであるが、行つて得るところは大きかつたと思っている。潜む越ながら海外にまだ行かれるチャンスを持たれない会員諸兄にも是非一度お薦めしたいと思い、敢えて紙面を汚した次第である。

私達は大戦3年目の秋、敗戦のきざし漸く鮮明となつた頃、50名のクラスが研究者を除く殆んどの全員が、当時の電波兵器の先兵として卒業を繰り上げた上、直ちに第一線と趣いて行つたのであるが、爾來四十有余年幾多の浮沈を経つつ、我が國の戦後の復興に貢献しながら人生を歩んで来た。従つてクラスの結束はいやが上にも

みであつたのは、病苦を押して出席し、40日後に京大病院で息を引き取つた川本重雄君の凜々しくも堂々とした最後の姿を冥の中で見えたことであつた。謹んで御冥福を心からお祈りします。

寛。杉根博、同夫森嚴。山の諸君で例年の
寛氏の御ん。

千代二。高木敬三。並木人。荷口康一郎、同夫人。山本政男。如く、京阪電鉄会長角田人。荷口龍夫記。盡力に感謝して止みませ
あつた。



昨年11月8日～9日 32名内
同伴夫人10名を含む)が大阪淀屋橋に集合の上、中之島を周航して船上より近代化された大阪都心部の美しさを満喫し、大阪城下に上陸した。ホテル京阪京橋で一夕の宴を持ち、翌9日専用バスで聖地高野山を訪れた。折り悪しく秋雨に見舞はれたが、真紅に映える紅葉と濃緑の千年杉の中に、重々しく歴史を秘めた金剛峯寺と奥の院は、訪れた我々の心の深奥を打つものがあった。

昭和25年に卒業のクラス会を、平成4年11月27日(金)18時から、京都駅前のホテル京阪京都で開催しました。最近は卒業30、35、40年と5年毎に集まつていましたが、そろそろもう少し頻繁にとの声も有り、今回は2年半振り、入学よりほぼ45年目に当りました。この間一同おおむね無事に過ごしてきましたが、不幸にも平成4年1月に萱島敬一君がクラス最初の物故者

となられたことは誠に残念至極です。
さて、当日は朝から湖西の比良ゴルフクラブへ、ただし参加者は石田、奥村、西岡、藤島の4名だけで、前日から泊った者もあつた者のに、ちょっと寂しかつたようです。夕刻、ホテルに集合、近藤先生においでをいただき、会員24名、夫人7名、合計32名でした。早め

25年会クラス会報告

びかけています。

出席者は、安達時敬、同夫人。

伊藤義一。岩谷英一。池上淳一。

種野藤三郎 同夫人 上之園新作
植田勝比古、同夫人。氏原岩雄、

同夫人。河原勇。糟谷績、同夫人

川口龍夫、同夫人。川本重雄、同



に来る者も多く、歓談、記念写真の撮影のあと、中華料理の卓を開き、先生のお話、近況報告、欠席者の動静、特に「生きがい」についてと、おおいに話がはずみました。宴が終つて席を変え、夫人を交えて20名ほどが水割りなどで更に一刻を過ごしたところはまだまだ元気です。19名がそのままホテルに宿泊しました。

翌28日、メンバーは宿泊者と多少入れ替わりましたがやはり19名が、晚秋の市内遊覧に出発しました。まず、東福寺で通天橋の紅葉と特別公開の竜吟庵の方丈や三門からの見晴らしを楽しみ、泉涌寺

30年会（短信）

卒業三十五周年 記念クラス会

（吹詠直温記）



翌16日はゴルフコースと保津川下りコースに別れて、快晴に恵まれた秋の一日を楽しみました。
（西台惇記）



